

■日 時 令和4年9月1日(木)午後2時から

■場 所 「ZOOM」を使用した WEB 会議形式

■出席者 出席者(15名)

外川伸一委員(会長)、

山田文夫委員、浅利勝往委員、星野和實委員、根津宏次委員、武井啓一委員、植

松俊彦委員、河西保子委員、甘利俊明委員、加々美富明委員、柄沢眞委員、立川

勉委員、鷲見よしみ委員、矢島良夫委員、小澤紀志子委員

■次 第 1 開会

2 福祉保健部長挨拶

3 委員紹介

4 会長挨拶

5 議事

(1)高齢者いきいき甲府プラン(令和3年度～令和5年度)の令和3年度の実績について

(2)介護サービスの整備状況等について

(3)次期高齢者いきいき甲府プラン策定に関するアンケート調査について

6 閉会

■議事審議内容

【会長】

それでは、議題に入ります。高齢者いきいき甲府プランの令和3年度の実績について事務局より資料の説明をお願いします。

【事務局】

資料5「高齢者いきいき甲府プラン令和3年度実績書」計画目標 1 について説明。

【会長】

事務局の説明について、ご意見・ご質問等あればお願いします。

【加々美委員】

P1 の後期高齢者健診受診率について、目標が未達成であるが、何か方策はあるか。

【事務局】

コロナの影響によるものであると思うが、今後もパンフレット等で周知を行っていく。

第1回甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録(要旨)

【浅利委員】

健診の受診については、前年に問題がなかったとしても、毎年受ける必要があることを周知する必要があるのではないか。

また、健診については毎年通知を送っているのか。

【事務局】

担当不在のため、後日議事録にて回答。

※国民健康保険加入者の特定健診については毎年、対象者全員に対し、通知を発送している。後期高齢者の健診については、前年度に健診を受診した場合に通知を発送している。

【星野委員】

受診率が低い原因については、後期高齢者であると前年に受診していない場合には通知が届かないこと、コロナ渦であるため会場の確保が難しく開催がしづらいこと、また、費用対効果が悪く、医師のモチベーションが上がらないことが挙げられる。

【事務局】

ご意見を真摯に受け、担当部署にも伝えさせていただく。

【会長】

健診の費用については、厚生労働省で決めているものでしょうか。

【星野委員】

甲府市と甲府市医師会で協議をして決定している。報酬については、自由診療である。報酬に関係なく、全員に受診の通知をする必要がある。

【浅利委員】

P2 高齢者学級の参加者数について、需要はあるが、参加者数が伸びていない。何か原因があると思うが、検討していただきたい。

【事務局】

担当部署(生涯学習課)にお伝えさせていただく。

【事務局】

資料5「高齢者いきいき甲府プラン令和3年度実績書」計画目標2について説明。

【植松委員】

P4 配食サービスの利用者数が減少しているが、どのような方が利用しなくなったのか。

第1回甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録(要旨)

【事務局】

個別に利用しなかった方の把握はしていないが、令和3年度については、コロナの影響もあり不特定多数の方との交流を敬遠したことにより、利用が伸びなかったと分析している。

【浅利委員】

利用を控えた方は食事を取っていないということか。

【事務局】

利用を控えた方は、その間、ショートステイを利用やご家族が食事を準備するなどして対応したと聞いている。

【根津委員】

コロナの影響で、開催をできなかった事業が多くあるが、代替として情報の周知を行う等の取組はあったのか。

【事務局】

成年後見制度及びいきいきサロンについては、代替としての取組を行っていないため、今後検討をしていく。

【根津委員】

令和4年度以降の目標値を高く設定している事業については、コロナ渦においても代替策を講じることで、取組を推進していくことが重要である。

【立川委員】

P4 元気アップ高齢者実態把握率の目標値が低いのではないか。

【事務局】

地域保健課の保健師や包括支援センターとも連携をしながら、令和3年度については、把握率を上げている。委員のご意見を受け止めながら、今後も介護予防を推進していく。

【会長】

マンパワーが足りないということか。

【事務局】

マンパワーが足りていないということはない。

第1回甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録(要旨)

【会長】

マンパワーが足りているのであれば、把握率が低い要因はなにか。

【事務局】

目標値については、実績に基づいて立てたところであるが、委員の意見を受け、今後はさらに把握率を高めるように努めていく。

【立川委員】

元気アップ高齢者実態把握率については、100%目指して把握の仕方等を検討する必要がある。

P4 でいう「②元気アップ高齢者実態把握率」は元気アップチェックの回答に対する把握率ということか。

【事務局】

元気アップチェックの回答者のうち、元気アップ高齢者に該当された方の把握率である。

※生活機能の低下を早期に発見し予防に努めるため、75 歳以上の奇数年齢の方で、介護予防・日常生活支援サービス事業の対象者として登録されておらず、要支援・要介護の認定を受けていない方へ、質問票(元気アップチェック)を発送する。

【立川委員】

甲府市にいる高齢者のうち、約 56%が元気アップ高齢者として把握しているということであれば、目標値としては低く、実施及び把握方法には工夫が必要である。

【鷲見委員】

「P6①高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合」について事業所に対する課題の相談が入ってきているため、内容についても把握を行ってほしい。

【事務局】

内容についても把握を行っていく。

【会長】

R3 から R5 まで目標値が同一であるのはなぜか。

【事務局】

高齢者人口が増えても、同じ割合を維持することを目標としている。

第1回甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録(要旨)

【会長】

事業者側からの相談を把握する方法を何か取っているか。

【事務局】

現状、アンケート等は実施していないが、今後事業所からの意見を聞く場を設けたいと考えている。

【事務局】

資料5「高齢者いきいき甲府プラン令和3年度実績書」計画目標3について説明。

【甘利委員】

「P8①病院職及び介護職の方が、高齢者の在宅支援において連携が図れていると実感する人の割合」についてR2年度目標値が90.1%であり、令和3年度の実績値が81.0%だとすると、割合は減少しているということか。また、割合が減少した原因はなにか。

【事務局】

R2年度までは、「②顔の見える関係づくり交流会」においてアンケートを行い、回答を得ていたが、R3年度はコロナの影響で簡素化を行い、思うような指標を得ることが出来なかったため、健康政策課独自でヒアリング等を行い数値作成したので、前年度の数値と乖離が出てしまった。

【甘利委員】

今後いい結果につながるようなアンケートの内容を検討してもらいたい。

【立川委員】

P7「②要支援1～要介護1の認定率の全国平均比較」「③要介護2・3の認定率の全国平均比較」について山梨県の傾向として、我慢強く認定を受けるのが遅いと言われているが、重度化防止のためには、早いうちからの認定を取ってもらう必要がある。この点について甲府市として、今後どのように考えているか。

【事務局】

要支援1、2から介護サービスの利用することが出来るよう、周知を今後も行っていく必要があると考えている。

第1回甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録(要旨)

【会長】

要支援 1、2 についての認定率を上げることは、高齢者の意識も関係してくるため、なかなか難しいと思うが、甲府市としてなにか工夫していることはあるか。

【事務局】

元気な高齢者を増やすことが重要であると考えている。甲府市では、令和4年度より元気アップチェック未回答の方を対象とした、「げんきお届け隊」という事業を行い、健康状態が分からない高齢者に対するのアプローチを行っている。

【星野委員】

P9⑨「認知症になっても安心して暮らせる体制づくりの推進」について、認知症物忘れ相談医、認知症サポート医、認知症初期支援チーム等の活動実績を入れてもよいのではないか。

【事務局】

今回の目標については、チームオレンジとしての活動を目標として挙げさせていただいた。今後についても、甲府市医師会等と協力しながら認知症施策に対する目標を設定させていただきたい。

【河西委員】

P7「⑦介護サービスの充実」(5)介護保険事業の円滑な運営の中にある、担い手の確保、人材の育成、生産性の向上について、介護職の平均年齢が上がっており、新たな担い手が不足している現状があるため、今後そのような現状を踏まえた評価指標を加えるとよいのではないか。

【事務局】

介護人材確保の問題については全国的なものであるため、国等に要望していくとともに、今後の介護保険計画においても、検討を行っていく。

【会長】

介護職の年齢別人数の把握は行っているか。

【事務局】

現状は行っていない。

第1回甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録(要旨)

【会長】

甲府市として、国に要望する際にも、そのような数字の把握はしていくべきである。

【鷺見委員】

ケアマネ協会において、介護職の年齢別人数の把握も含めたアンケート調査を行う予定であるため、結果については共有する。

【事務局】

資料 6「介護サービスの整備状況等について」を説明

【根津委員】

地域密着通所介護の事業所数は昨年に比べ増えているか。

【事務局】

数字を持っていないので、後日議事録とともに送付させていただく。

※令和元年度 71事業所 令和2年度 76事業所

【根津委員】

地域密着通所介護事業所の総量規制を行っている市もあると聞いているが、甲府市も検討しているか確認をしたい。

【事務局】

後日議事録とともに送付させていただく。

※地域密着通所介護事業所については本市において総量規制を行っていない。

【事務局】

資料 7「次期高齢者いきいき甲府プラン策定に関する各種調査」について説明

【会長】

資料に記載のアンケートは前期と同様か。

【事務局】

同様である。

第1回甲府市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録(要旨)

【会長】

ご意見等は他にないようなので、進行を事務局に戻します。

【事務局】

以上を持ちまして、終了とさせていただきます。

ありがとうございました。